

様式3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数							非常勤 教員	専任教員一人 あたりの在籍 学生数	備考	
	教授	准教授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数				助手
理学療法 学科	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
専門課程	人	人	7人	人	7人	人	7人	人	43人	17人	
計	人	人	7人	人	7人	人	7人	人	43人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導要領との連動状況

学部・学科等の名称	分野（基礎・専門 基礎・専門）	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
					氏名	職名 （専任・兼任）
理学療法学科	基礎	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	心理学	3	前田 憲一	兼任
			業務運営管理学	2	岡村 佳代子	専任
			社会の理解	2	松下 剛	兼任
			社会福祉概論	2	松下 剛	兼任
			物理学	3	鈴木 敏彦	兼任
			統計学	3	鈴木 敏彦	兼任
			保健体育実技	1	藤井 顕・山岡 郁子・ 内山田 悟朗・岡村 佳代子 田中 まりこ・齊藤 翔 斎藤 亮太	専任
			英語	2	垣内 淑子	兼任
	専門 基礎	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1	橋本 正次・笠原 典夫	兼任
			解剖学Ⅱ	3	橋本 正次・笠原 典夫	兼任
			組織学	1	笠原 典夫	兼任
			解剖学実習	1	阿部 伸一・橋本 正次・ 笠原 典夫	兼任
			生理学	3	谷端 淳	兼任
			生化学Ⅰ	1	橋本 由美子	兼任
			生化学Ⅱ	1	橋本 由美子	兼任
			生理学実習	1	南沢 享	兼任
運動学Ⅰ	2	斎藤 亮太	専任			

理学療法学科	専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	2	藤井 顕	専任
			人間発達学	1	山岡 郁子	専任
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論	1	濱口 欣一	兼任
			臨床心理学	1	小葉 理絵	兼任
			医療学概論	1	藤崎 康人・藤井 顕 山岡 郁子・内山田 悟朗 岡村 佳代子・田中 まりこ 齊藤 翔・斎藤 亮太	専任 兼任
			一般臨床医学	1	塩谷 尚志	兼任
			内科学Ⅰ	1	繁田 稔之	兼任
			内科学Ⅱ	1	繁田 稔之	兼任
			整形外科学Ⅰ	1	熱田 智範・井上 雅寛・ 川島 明	兼任
			整形外科学Ⅱ	1	熱田 智範・松浦 佑介・ 川島 明	兼任
			神経内科学Ⅰ	1	北島 具秀	兼任
			神経内科学Ⅱ	1	ネルソン 祥子	兼任
			精神医学	1	鈴木 みね子	兼任
			小児科学	1	臼井 信男・所 敏治	兼任
			老年医学	1	ネルソン 祥子・大山 真吾	兼任
			救急医学・蘇生法	1	花島 喜好	兼任
			保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論Ⅰ	2	藤井 顕
		リハビリテーション概論Ⅱ		1	藤井 顕・丸山 友子・ 鈴木 翔太・松田 衣里加	専任 兼任
		リハビリテーション医学		1	小沼 亮	兼任
	専門	基礎理学療法学	理学療法概論Ⅰ	1	田中 まりこ	専門
			理学療法概論Ⅱ	1	岡田 亨	兼任
			理学療法概論Ⅲ	1	内山田 悟朗	専任
			卒業研究	3	藤井 顕・山岡 郁子・ 内山田 悟朗・岡村 佳代子 田中 まりこ・齊藤 翔 斎藤 亮太	専任
		理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	1	岡村 佳代子	専任
			理学療法管理学Ⅱ	1	村永 信吾	兼任

理学療法学科	専門	理学療法評価学	臨床運動学	2	遊佐 隆	兼任
			理学療法評価法Ⅰ	3	齊藤 翔・斎藤 亮太	専任
			理学療法評価法Ⅱ	3	齊藤 翔・斎藤 亮太	専任
		理学療法治療学	運動療法Ⅰ 総論	1	阿部 雅弘	兼任
			運動療法Ⅱ 整形外科疾患	2	高井 豊	兼任
			運動療法Ⅲ 脊髄損傷	1	河合 麻美	兼任
			運動療法Ⅳ 小児疾患	2	宮前 信彦	兼任
			運動療法Ⅴ 呼吸器疾患	1	稲垣 武・石井 正二	兼任
			運動療法Ⅵ 循環器疾患	1	小川 明宏	兼任
			運動療法Ⅶ 中枢神経疾患	1	山岡 郁子	専任
			運動療法Ⅷ 神経筋疾患	1	ネルソン 祥子	兼任
			物理療法Ⅰ	1	田中 まりこ	専任
			物理療法Ⅱ	1	斎藤 亮太	専任
			理学療法技術論Ⅰ	1	岡村 佳代子	専任
			理学療法技術論Ⅱ	1	齊藤 翔	専任
			理学療法技術論Ⅲ	1	山岡 郁子	専任
			日常生活動作Ⅰ	1	内山田 悟朗	専任
			日常生活動作Ⅱ	1	田中 まりこ	専任
			義肢学	1	岡安 健	兼任
			装具学	2	内山田 悟朗	専任
		臨床技術	1	阿部 雅弘	兼任	
		地域理学療法学	生活環境論	1	岡村 佳代子	専任
			地域リハビリテーション	1	佐々木 和人・内山田 悟朗	兼任 専任
			リハビリテーション機器	1	岡村 佳代子	専任
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	2	各臨床実習指導者	兼任
			臨床実習Ⅱ	5	各臨床実習指導者	兼任
			臨床実習Ⅲ	1 4	各臨床実習指導者	兼任
	地域実習		1	各臨床実習指導者	兼任	
	選択 必須		PNFⅠ	1	市川 重之	兼任
			PNFⅡ	1	市川 重之	兼任
特殊理学療法			2	横尾 浩・齊藤 翔	兼任 専任	
文献抄読			1	山岡 郁子	専任	

理学療法学科	選択必須		総合理学療法Ⅰ	2	藤井 顕・山岡 郁子・ 内山田 悟朗・岡村 佳代子 田中 まりこ・齊藤 翔 斎藤 亮太	専任
			総合理学療法Ⅱ	2	藤井 顕・山岡 郁子・ 内山田 悟朗・岡村 佳代子 田中 まりこ・齊藤 翔 斎藤 亮太	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療提供施設等での見学実習	2年後期	臨床実習Ⅰ	2年後期
医療提供施設等での評価実習	3年後期	臨床実習Ⅱ	3年後期
医療提供施設等での総合実習	4年前後期	臨床実習Ⅲ	4年前後期
訪問または通所リハビリテーションに関する実習	4年前期	地域実習	4年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	教員会議
委員名（委員長）	藤崎 壽路（委員長）・藤井 颯・山岡 郁子・内山田 悟朗・岡村 佳代子・田中 まりこ・齊藤 翔・斎藤 亮太
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	・ 学生による授業評価の分析
	・ 委員による授業参観の企画
	・ 教育教材備品について
	・ 教育環境・整備について
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： https://fuji-reha.com/ ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教員会議
	委員構成等	藤崎 壽路（委員長）・藤井 顕・山岡 郁子・内山田 悟朗・岡村 佳代子・ 田中 まりこ・齊藤 翔・斎藤 亮太
	改善の仕組みの実際	・授業内容、講師について

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

リハビリテーション評価機構での審査
